



MIXI REPORT 2026

2026年3月期 報告書
2025年4月1日～2026年3月31日

証券コード：2121



©MIXI



代表取締役社長
上級執行役員 CEO
木村 弘毅

2026年3月期の事業状況

2026年3月期の通期連結業績は、売上高1,713億円(前期比10.7%増)、EBITDA(償却前営業利益)311億円(同1.6%減)、営業利益222億円(同16.3%減)、親会社株主に帰属する当期純利益172億円(同1.9%減)となりました。売上高は増収となった一方、EBITDAは「モンスターストライク」の減収影響や前期の投資事業における株式売却益等の反動により減益となりました。また、営業利益は豪州のPointsBet Holdings Limited(以下、PointsBet社)の新規連結に伴うのれん償却等の計上により減益、親会社株主に帰属する当期純利益は為替差益等により前年並みとなりました。

スポーツセグメントは、売上高658億円と前期比63.8%の増収となり、EBITDAは50億円を超えました。デジタルエンターテインメントセグメントに続く第2の柱へと成長してきています。観戦事業は、「千葉ジェッツ」および「FC東京」の双方で売上高が伸長しています。ベッティング事業は、PointsBet社の連結子会社化による売上増に加えて、競輪・オートレース投票サービス「TIPSTAR」および株式会社チャリ・ロトのオンライン車券販売や競輪場運営の包括受託料の伸長により増収となりました。

ライフスタイルセグメントは、「家族アルバム みてね」の注力領域(「みてねプレミアム」、「写真プリント」、「みてねみまもりGPS」、「広告」)が好調であったことから、売上高171億円と前期比16.0%の増収となり、EBITDAも通期黒字を達成しました。「家族アルバム みてね」

の利用者数は約3,000万人、MAUは2026年5月時点で約1,200万人に到達しており、着実にサービスが拡大しています。

デジタルエンターテインメントセグメントは、売上高838億円と前期比10.8%の減収となりました。「モンスターストライク」は、ARPUが増加したものの、新規ユーザーの定着に課題がありMAUが減少しました。一方でEBITDAは、当社独自の決済チャネル「モンストWebショップ」経由の決済増加によりコスト効率化が進んだことで利益率が改善し、前年同水準を維持しました。

投資セグメントは、投資先ファンドからの分配金収入がありましたが、前期において大型案件の株式売却益を計上していたため、減収減益となりました。

またAI活用については、全社員が日常的に活用する業務インフラとして浸透しています。2026年3月期では、全社AI活用率が99%超となり、月間約17,600時間もの業務時間の削減、年間約10億円規模のコスト削減を実現し、各部署の重要な業務において、様々な生産性向上がみられました。今後もAIを用いた業務効率化を進め、創出したリソースを新規サービス開発やサービス品質の向上に活用してまいります。

中期ビジョンと企業価値向上への取り組み

当社は、SNSやゲーム、スポーツなど、家族や友人とのコミュニケーションが発生する場面から生まれる経済圏を「We-Timeエコノミー」と改めて定義し、中期ビジョンを描いています。AIやデジタルの進化により、人々の「自由な時間」が増え、コンテンツの選択肢も広がる中で、「何を楽しむか」だけでなく、当社がこだわってきた「誰と楽しむか」の価値が高まっています。こうした余暇市場全体の追い風を捉え、MIXIらしい価値創出を加速させていきます。

事業戦略においては、「ロコミによる低コストな情報拡散(右図①)」「家族や友人と一緒に遊ぶことによる継続性の向上(右図②)」「みんなで盛り上がることによる利用・消費の活性化(右図③)」といったノウハウを活かし、高利益率の事業を実現してまいります。



MESSAGE

ごあいさつ

スポーツセグメントでは、「TIPSTAR」で培ったソーシャルベッティングの知見と、PointsBet社の技術を掛け合わせて、仲間と楽しむ「We-Time」を海外にも広げてまいります。

ライフスタイルセグメントでは、「家族アルバム みてね」のサブスクリプションや広告等の収益性の高いデジタル商材の売上構成比を高めるとともに、海外でのユーザー拡大、現地に合わせた収益化を目指してまいります。

デジタルエンターテインメントセグメントでは、「モンスターストライク」のIPとしての価値をさらに高めることで中長期での事業基盤を強化するとともに、2026年4月からインドで本格運用を開始しているグローバル版「STRIKE WORLD」などを通じて新たな市場の開拓を進めてまいります。

財務戦略では、効率性(EBITDAマージン、ROE)の向上を優先しつつ、2030年代初頭に売上高3,000億円、EBITDAマージン20%、ROE15%の達成を目指します。積極的な事業投資やM&Aを行うことで利益を増加させ、より厚い株主還元に努めてまいります。またガバナンスについては、取締役の評価の仕組みや報酬制度などを中心に、持続的な企業経営の基盤となる規律を強化してまいります。

2030年代初頭 財務目標

●効率性(EBITDAマージン、ROE)の向上を優先しつつ、トップライン向上を目指す				
	指標	FY26実績	目標水準	目標実現に向けた基本方針
トップライン	売上高	1,713億円	3,000億円	ソーシャルベッティングやみてねの成長を加速することにより、FY26の2倍水準の売上高を目指す
	重点投資領域*1 売上高成長率(年平均)	—	10%	
効率性	優先指標 EBITDAマージン	18%	20%	スポーツ、ライフスタイルの利益構成比を上げることで、全社の収益性を改善
	重点投資領域 EBITDA構成比*2	11%	60%	
	優先指標 ROE	9.6%	15%	利益水準の向上と財務レバレッジの改善により実現

*1:全社数値からモンスター国内・台湾・香港・マカオ・その他(全社コスト等)を抜いた合計

*2:重点投資領域のEBITDA合計÷事業セグメントEBITDA合計

株主の皆さまへ

2026年3月期の1株当たり年間配当金は120円といたしました。また、2027年3月期は、125円への増配を見込んでいます。当社は2027年3月期以降、利益成長局面への移行を踏まえ、連結配当性向の目安を20%から40%へ引き上げます。DOE(株主資本配当率)5%を目安とする方針は維持しつつ、これまでよりも利益成長を株主還元へ反映しやすい方針といたしました。今後も株主の皆さまへの適切な還元を継続しながら、企業価値の向上を目指してまいります。

当社は今、第3の創業期にあります。第1の創業期ではSNS「mixi」の立ち上げ、第2の創業期では「モンスターストライク」の登場、それに続く第3の創業期では、「モンスターストライク」のキャッシュで育てたスポーツやライフスタイル事業の収益化およびグローバル展開によって、売上・収益規模を大きく拡大させてまいります。

株主の皆さまには今後とも変わらぬご指導とご支援をお願い申し上げます。

木村弘毅

「MIXI MEETUP! AI DAY 2026」を開催 AI活用の現在地を社内外に発信

<https://mixi.co.jp/news/2026/0409/50912/>

当社は、AI活用を一部の取り組みに留めるのではなく、事業推進・組織運営・経営判断にまで組み込む全社変革として推進しています。2026年3月に開催した「MIXI MEETUP! AI DAY 2026」では、この1年に各領域で蓄積したAI活用の実践知を社内外に共有しました。エンジニア、デザイナー、ビジネス、コーポレートなどの職種・部門を横断して取り組んだAI活用の成果や課題を23の実践事例として紹介しました。今後もAI活用による生産性向上と新たな価値創造に挑戦し続けてまいります。

※YouTubeチャンネル「MIXI TECH&DESIGN」
(https://www.youtube.com/@mixi_developers)にて、
本イベントの様様(一部を除く)をアーカイブ配信しています
ので、ぜひご覧ください。



TOPICS

2026年3月期 年間トピックス

SPORTS

スポーツ

広島競輪場再整備・
運営事業が完了
「アーバンサイクルパークス
広島」が誕生

https://chariloto.jp/news/20260326_1/index.html

チャリ・ロト社が広島市から受託した広島競輪場の再整備事業が完了し、「アーバンサイクルパークス広島」が誕生しました。リニューアルを進める中で再開した2025年12月のGⅢレースでは、改修前の約2倍となる1万人が来場するなど、リニューアル後の集客面でも一定の成果が見られています。BMX、スケートボード、キックバイクなどのアーバンスポーツを楽しめるエリアも備え、競輪ファンに加えて子ども達や親子連れ、若者なども訪れる施設として、地域のにぎわいと新しいスポーツ文化を生み出す拠点の運営に携わってまいります。



「FC東京」女子サッカー領域へ活動を拡大
「スフィード世田谷FC」と
2027年からの統合に基本合意

<https://www.fctokyo.co.jp/news/details/331638/>

2026年2月、「FC東京」は、なでしこリーグ1部に所属する「スフィード世田谷FC」との統合に基本合意しました。これにより「FC東京」は、男子トップチームやアカデミーなどに加え、活動領域を女子サッカーにも広げます。「FC東京」のブランド力やクラブ運営・事業ノウハウと、「スフィード世田谷FC」が培った女子サッカーの現場力と育成・普及の知見を活かし、東京を代表するクラブとしてさらなるプレゼンス向上を目指してまいります。

MESSAGE 〇 TOPICS 〇 INFORMATION 〇

DIGITAL ENTERTAINMENT

デジタルエンターテインメント

「モンスターストライク」の
グローバル版「STRIKE WORLD」が
インドで本格運用を開始

<https://mixi.co.jp/news/2026/0416/51205/>

2026年4月よりインドで「モンスターストライク」のグローバル版「STRIKE WORLD」の本格運用を開始しました。引っ張って弾くだけのシンプルな操作性や、友達と一緒に盛り上げられるマルチプレイ体験といった魅力を大切にしながら、インド市場に合わせたユーザー体験やデザインの最適化を進めています。今後も通信面や遊び方の改善、運用・マーケティングの知見蓄積を通じて、インド市場での成長を目指してまいります。



LIFESTYLE

ライフスタイル



「家族アルバム みてね」、 デジタルフォトフレームの販売が好調

<https://mixi.co.jp/news/2025/1121/46615/>

「みてねおもいでフォトフレーム」は、2025年12月の販売開始以来、想定を上回る販売台数で好調に推移しています。「みてね」にアップロードされた写真・動画を自動で表示できる手軽さが特長で、離れて暮らす家族にも思い出を届けられる商品として支持されています。今後も、家族のコミュニケーションをより豊かにするサービスづくりに取り組んでまいります。※ご好評いただいております。欠品している可能性があります。

GROUP REPORT

グループレポート

総合メディアプロジェクト

「MEDIAMIXI」が始動

<https://mixi.co.jp/news/2026/0401/50516/>

2026年4月より、総合メディアプロジェクト「MEDIAMIXI」を開始しました。「MEDIAMIXI」では、WEBニュースメディア、YouTubeチャンネル、ラジオ番組を通じて、“今起きていること”と“これからの社会”を多角的に切り取ったコンテンツをお届けしています。開設記念企画として、株式会社ディー・エヌ・エー（DeNA）代表取締役会長の南場智子氏を迎えた対談や、当社代表取締役社長の

木村の1日密着動画なども公開しています。今後も各メディアの特性を活かし、MIXIならではの視点で社会との対話を広げてまいります。



※「MEDIAMIXI」の各コンテンツは、公式サイト
[\(https://mediamixi.jp/\)](https://mediamixi.jp/) よりご覧ください。

パラアスリート講師たちに よるDEI教育・研修プログラム 「あすチャレ！」にパートナーとして参画

<https://mixi.co.jp/news/2026/0423/51401/>

当社は、日本財団パラスポーツサポートセンターが展開する、DEI※教育・研修プログラム「あすチャレ！」に2026年度のパートナーとして参画します。「あすチャレ！」は、パラアスリートとの対話やパラスポーツ体験を通じて、参加者の意識や行動の変化を促す教育・研修プログラムです。当社が培ってきた人と人をつなぐコミュニケーション設計の知見を活かし、スポーツを通じて心がつながる体験を次世代の子どもたちへ届けてまいります。

※ 多様性・公平性・包摂性



株式会社日本格付研究所(JCR)より 新規に格付取得

<https://mixi.co.jp/news/2026/0327/50335/>

当社は、JCRより2026年3月27日付で新規に以下のとおり、格付を取得しました。

対象	格付け	見通し
長期発行体格付	A-	安定的

第三者機関による事業内容および財務状況の客観的な評価を通して、財務基盤の安定性や経営の透明性を示すことで、資金調達が多様化・安定化を図るとともに、投資家、取引先、採用候補者を含む幅広いステークホルダーの信頼向上につなげてまいります。

MSCI ESGレーティング で2年連続「AA」を獲得

<https://mixi.co.jp/news/2026/0331/50476/>


健康経営優良法人の ホワイト500に初認定

<https://mixi.co.jp/news/2026/0309/49713/>


当社は、世界の企業を対象にESGへの取り組みや情報開示の観点で格付けする「MSCI ESGレーティング」で2年連続の「AA」を獲得しました。また、「健康経営優良法人2026（大規模法人部門）ホワイト500」に初めて認定されました。引き続きサステナビリティに関する取り組みを推進するとともに、従業員一人ひとりが心身ともに健康で働ける環境づくりに取り組んでまいります。

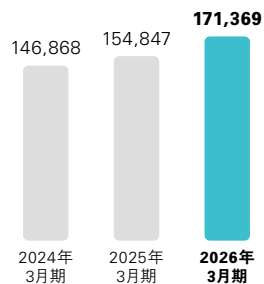
MSCI免責事項: <https://www.msci.com/legal/notice-and-disclaimer>

INFORMATION

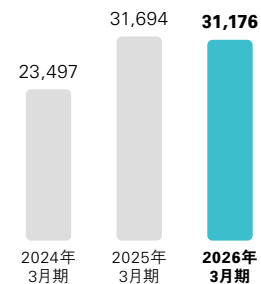
連結業績・財務／会社情報

MESSAGE TOPICS INFORMATION

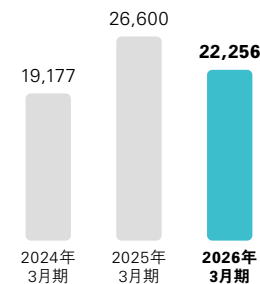
売上高 (百万円)



EBITDA (百万円)



営業利益 (百万円)



会社概要 (2026年3月31日現在)

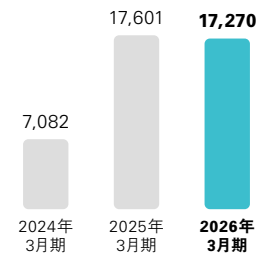
会社名	株式会社MIXI (MIXI, Inc.)
所在地	〒150-6136 東京都渋谷区渋谷二丁目24番12号 渋谷スクランブルスクエア36F
ウェブサイト	https://mixi.co.jp/
設立	1999年6月3日
資本金	96億98百万円
従業員数	2,116名 (連結・正社員のみ)

大株主 (2026年3月31日現在)

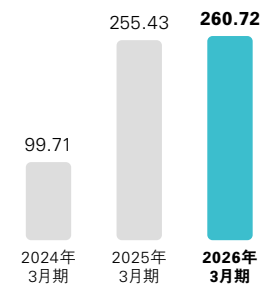
株主名	持株数(株)	持株比率(%)
笠原 健治	32,521,900	49.95
日本マスタートラスト 信託銀行株式会社(信託口)	5,312,200	8.16
株式会社日本カストディ銀行 (信託口)	1,614,700	2.48
木村 弘毅	1,414,800	2.17
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505001	1,108,647	1.70

※当社は6,224,404株の自己株式を保有しています。当該株式には議決権がないため上記大株主からは除外するとともに、持株比率の算出についても、当該株式数を控除しています。

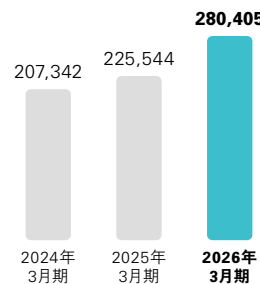
親会社株主に帰属する 当期純利益 (百万円)



1株当たり当期純利益 (円)



総資産 (百万円)



役員 (2026年6月26日現在)

代表取締役社長	木村 弘毅
取締役	島村 恒平
取締役	村瀬 龍馬
取締役	笠原 健治
社外取締役	藤田 明久
社外取締役	渡瀬 ひろみ
社外取締役	河合 俊明
社外監査役(常勤)	西村 裕一郎
社外監査役	平尾 智是
社外監査役	上田 望美
社外監査役	高山 清子

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	6月
基準日	3月31日
株主名簿管理人 および特別口座の 口座管理機関	東京都千代田区 丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社

株主名簿管理人 事務取扱場所	東京都千代田区 丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 郵便物送付先: 〒168-0063 東京都杉並区 和泉二丁目8番4号 電話照会先: ☎0120-782-031 インターネットホームページ: URL: https://www.smtb.jp/ personal/agency/index.html
-------------------	---

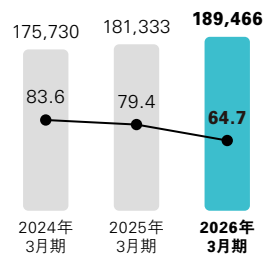
公告の方法	電子公告 https://www.mixi.co.jp/ ただし、やむを得ない事由により、 電子公告によることができない場合は、 日本経済新聞に掲載する方法により行います。
-------	---

株式の状況 (2026年3月31日現在)

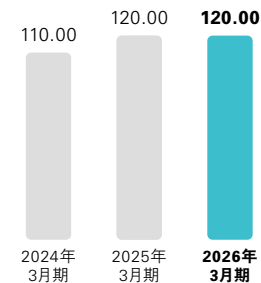
発行可能株式総数	264,000,000株
発行済株式の総数	71,330,850株
株主数(単元未満株主を含む)	24,636名

当社ホームページの
IR・投資家情報において、
投資家さま向けに様々な
情報を掲載しております。
ぜひご覧ください。
<https://mixi.co.jp/ir/>

純資産 (百万円) 自己資本比率 (%)



1株当たり配当金 (年間) (円)



■ 純資産 ◆ 自己資本比率